

住みたいと選ばれる 住み続けたいと思える まちづくりを進めます

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろからの町政へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨年は、5年間のまちづくりの方向性を示す第5次総合計画後期基本計画がスタートするとともに、人口減少に対応し、住民が夢や希望を持てるよう「住みよさブランドの確立」や「町を愛する人を育て、絆をつなげ・広げること」を視点とした「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を

実行に移す年となりました。

特徴的なものとして、観光ステーション北斗七星を拠点とした町の魅力発信や、岡垣町が先進的モデルとなるような中学校での特色ある英語教育改革を進めました。また、昨年12月には、長年の懸案事項であったJR海老津駅南側の道路・広場・自由通路の整備が完了したことで、車両が通りやすくなり、交通渋滞も緩和され、さらに自由通路によって高齢者や自転車が踏切を渡ることなく安全に通行できるようになりました。

今後、国道3号岡垣バイパスの

A Message for the New Year

4車線化の整備や主要道路の整備を促し、駅南側地域の立地条件を向上させることで、民間による宅地開発の促進や企業の誘致につなげたいと考えています。

迎えた本年は、災害時などの緊急、防災情報やコミュニケーション情報を速やかに伝達できる戸別受信機の各家庭への配布を始めます。また、高齢者などが健康で生きがいの持てる暮らしを引き続き支援し、子どもたちが健全で豊かに育つための子育て支援の拡充を図ることで「住みたいと選ばれるまちづくり」「住み続けたいと思えるまちづくり」を進めていきます。

私は、平成21年1月に町長に就任し「元気なまち岡垣」を目指して、これまで可能な限り現地を直接見て、町民や議員の皆さまのご意見を伺いながら、その実現に当たってきました。そして、すぐに実行できるものは早速に対応し、時間を要するものは、第5次総合計画に位置づけて計画的に取り組んできました。

平成23年度からスタートした第5次総合計画は、「住みたい・住み

続けたい・みんなが輝く元気なまち岡垣」の基本理念のもと「輝き」「安全安心」「心の豊かさ」の3つのまちの将来像を定めており、その実現に向けて様々な政策に着手してきましたが、現在取り組んでいる事業やこれから取り組むべき課題もあります。

昨年12月の町長選挙におきましては、再び町政の舵取り役を担わせていただくことになりました。大変光栄なことであるとともに、改めて町長としての責任の重大さを痛感しております。

これからも、町民の皆さまの視線に立ち、心のかようまちづくりを進めることで、平成32年度を終了期間とする第5次総合計画の着実な実現に努めるとともに、岡垣町の豊かな自然環境や長きにわたる歴史を未来へ引き継いでいくことが、私の使命であると考えていますので、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、平成29年の町民の皆さまのご多幸とご健康を心から祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

岡垣町長
宮内 實生

